



令和5年1月23日

報道関係 各位

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター  
副院長 永谷 祐子  
電話：052-721-7171

## 整形外科用ロボット支援手術システム「CORI」を 愛知県で初めて導入

名古屋市立大学医学部附属東部医療センターは、より安全かつ正確な人工膝関節置換の実現のため、スミス・アンド・ネフュー社の整形外科用ロボット支援手術システム「CORI」を導入いたしました。

日本では2021年に発売され、愛知県では初の導入になります。CORIは、人工膝関節置換術において、医師が決めた範囲の骨のみを切除するようコンピューターが制御を行う手術支援ロボットです。患者さま一人一人の膝の状態を手術中にシステムに読み込ませることで、オーダーメイドな手術をサポートし、患者様の膝の状態に応じた人工膝関節システムを提供することが可能となるため、患者様の早期の回復、早期社会復帰を目指します。

### 【CORIの概要】

#### 1 名称

CORI（コリ）

スミス・アンド・ネフュー株式会社（Smith & Nephew）



#### 2 主な用途

整形外科の人工膝関節置換術において使用します。人工膝関節置換術とは変形性膝関節症、膝の骨壊死、関節リウマチなどにより軟骨や骨がすり減り痛みが出た際に、その箇所を削り切って、人工関節を入れることで、痛みなく歩けるようになるための手術です。

#### 3 特長と期待されること

CORIは、赤外線カメラでハンドピースの位置を認識し、ロボット支援により骨切除の位置や切除量を制御するので、より安全かつ正確な手術が期待できます。また患者さま一人一人の膝の状態を手術中にシステムへ読み込ませることができるので、オーダーメイドな手術が可能となります。患者さま個人に合った適切なインプラントの設置ができ、患者様の早期の回復、早期の社会復帰に貢献が期待されます。

※取材をご希望の際は、事前に経営課広報担当（052-721-7171代）までご連絡をお願いいたします。